

戦 評

大会名 令和元年度 第26回岩手県バレーボール6人制総合選手権大会

男子・決勝

期 日： 令和元年12月8日
会場名： 浜民運動公園総合体育館

富士大学 2 { 33 — 31
25 — 12
— } 0 岡崎建設Owls
試合時間 0 時間 46 分

主 審 及川 晃弘

副 審 菊池 三雄

戦 評

1セット目、富士大学は4番佐藤(隼)のスパイクを始めとした3連続得点で、

リードをつくる。対する岡崎建設は、高さのあるブロックで得点し、逆転する。

中盤、岡崎建設は15番鎌田のサーブポイントを含む5連続得点でリードを広げ、

先にセットポイントを握る。しかし、富士大学は3番村上のジャンプサーブで

相手を崩し、粘り強いプレーで7連続得点をあげ、試合はデュースにもつれ込

む。お互いのスパイクで点を取り合い、一進一退の攻防が続くが、富士大学が

4番佐藤(隼)のスパイクで1セット目を先取した。

続く2セット目、富士大学は堅実な守備と多彩な攻撃で序盤からリードする。

対する岡崎建設は、3番伊藤を投入し、流れを変えようとするも及ばず。富士大

学が初優勝の栄冠に輝いた。

※ 7～10行にまとめること。

戦評者 及川 裕生

